

令和 3 年度 さいたま市立 新和小 学校 自己評価書

校長 三村 美延

1 学校で設定した「令和3年度の目標」及び関係する「評価項目」について

(1) 個別最適な学びの充実のために新和小GIGAスクール構想を推進する。協働的な学びの時間を確保し、「主体的・対話的で深い学び」を実践する。(児童の学力・学習状況、教員の授業にかかわる評価)

(2) 「心と生活のアンケート」等の調査結果を基にいじめの早期発見に努め、迅速に、学校全体でいじめ防止に向けて組織的に対応する。学習の場、生活の場としての校内整備の充実を図る。(児童の安全・安心、いじめの防止等にかかわる評価)

(3) 家庭との連携、学校運営協議会の開催、幼児教育の連携等、積極的に社会に開かれた学校づくりを推進する。新和小の子どもを見守り育てる連絡協議会と連携し、児童の事故防止に努める。(地域と連携した学校安全にかかわる評価)

(4) 教職員の多忙感を軽減し、元気に業務に従事できるように、時間管理、風通しのよい職場環境、休暇の有効活用などの業務改善に努め、教職員のライフ・ワーク・バランスの充実を図る。(在校時間の管理や教職員が児童と向き合える時間にかかわる評価)

2 評価結果について

(1) エバンジェリストを中心にGIGAスクール構想を進めた。「よい授業」の集計結果では、前回の市平均よりも各因子でポイントを上回っている。特に因子③では平均より1.5ポイントを上回る結果となっている。また、保護者アンケートの「学校は、分かりやすい授業を行っている」については98%保護者が肯定的評価をしている。しかしながら個別最適な学びの充実には継続的な努力が必要である。

(2) いじめの早期発見に努め、いじめ防止に組織的に対応した。「いじめがなく、友だちと仲良く生活しています」の項目では、保護者94%児童92%の肯定的評価だった。学校の環境整備を進め、保護者アンケートの環境整備の項目では96%の肯定的評価結果となった。

(3) 積極的に社会に開かれた学校づくりを推進することができた。安全面では、保護者・地域と協力して児童の事故防止に努めた。また、PTAや岩槻区役所と連携し、通学路の交通事故防止標示の付け替えや新和小ヒヤリハットマップの作成を行った。今年度、救急搬送を依頼するなどの児童の重大事故の発生は0件だった。

(4) 業務分担の調整やリフレッシュデーの推進、業務改善ハンドブックを活用しての業務改善を進めた。教職員アンケート「勤務時間を意識して業務改善に努めている」の項目では、92%の職員が意識して取り組むことができていると回答しており、教職員一人ひとりの働き方・業務改善の意識が高まってきている。

3 次年度に向けた具体的な改善策について

自主的・主体的な学習を進め、個別最適な学びを充実させるため、一人1台端末の活用を含めたGIGAスクール構想を一層推進する。また、学校・家庭・地域が連携して子どもを育てられるように学校運営協議会等を充実させ、一体となって教育活動に取り組んでいく。